

会議名 財務常任委員会

日時 平成 28 年 3 月 23 日（水）午後 4 時 44 分～午後 4 時 59 分

場所 第 2 ・ 3 委員会室

出席議員（15 名）

委員長	伊藤隆信	副委員長	榊谷規子	委員	櫻井伸賢
委員	大野慎治	委員	鈴木麻住	委員	塚本秋雄
委員	相原俊一	委員	鬼頭博和	委員	須藤智子
委員	梅村 均	委員	木村冬樹	委員	堀 巖
委員	宮川 隆	委員	黒川 武	委員	関戸郁文

欠席議員 なし

説明員（14 名）

総務部長 奥村邦夫、市民部長 柴田義晴、健康福祉部長 森山 稔、
建設部長 西垣正則、消防長 今枝幹夫、教育こども未来部長 山田日出
雄
秘書企画課長 長谷川 忍、同主幹 佐野 剛、同主査 加藤 淳、同主
査 小出健二、行政課長 中村定秋、同主査 酒井 寿、商工農政課長 伊
藤新治、同主査 新中須俊一

事務局出席 議会事務局長 尾関友康、同主査 田島勝己

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第 57 号	平成 2 7 年度岩倉市一般会計補正予算（第 6 号）	全員賛成 可決
議案第 58 号	平成 2 8 年度岩倉市一般会計補正予算（第 1 号）	全員賛成 可決

財務常任委員会（平成28年3月23日）

◎委員長（伊藤隆信君） 大変お疲れさまでございます。

ただいまより財務常任委員会を開催させていただきます。

当委員会に付託されました案件は議案2件でございます。これらにつきまして、逐次議題といたします。

それでは、審査に入ります。

議案第57号「平成27年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）」を議題といたします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

初めに、歳出についての質疑を許します。

◎委員（黒川 武君） この案件に上がっていることではなくて、ちょっと関連でお聞きいたします。

説明によると、交付申請が2つなされたということで、そのうちの1つが採択されたと。それで、今回の追加の補正で上げたということで、不採択になったもう1件というのは、どのような内容のもので、何か理由があって不採択になったのか、その辺わかりましたらお教えてください。

◎秘書企画課主査（小出健二君） 御質問の2つの事業で申請をさせていただいたということでございますけれども、もう1つは、働く人が輝くまちの移住・定住促進事業という名称で、申請といいますか実施計画書を提出させていただきました。

内容につきましては、当初予算でも計上はされておりますけれども、シティプロモーションの関係とホームページのリニューアルとあわせまして、働く世代に対する支援というようなところで、ビジネススキルを向上させるような取り組みを、セミナーですとか講座を開催して、そういった働く世代を呼び込もうというような事業でございます。

御質問のなぜ通らなかったのかというようなことでございますけれども、今回、国のほうの交付金の審査は、かなりハードルの高いものになっておりまして、事業の先駆性ですとか、官民協働、政策間連携、地域間連携というようなところの細かな基準が設けられております。明確な理由はお伝えいただいておりますけれども、やはりそういった先駆性ですとか、今回、ほかの採択の案件を見ますと、地域間連携というような、広域の自治体での取り組みというのがたくさん見られておりまして、そういった部分で採択には至

らなかったのかなあというふうに考えております。

◎委員（木村冬樹君） ちょっと関連ですけど、歳入のほうで聞こうと思ったんだけど、今、岩倉市が提案したもののうち1つだけが採択されたということで、これは全国から多くの提案がされているというふうに思うんですけど、これって採択されている割合だとか、近隣の状況だとか、こういうことなんか情報ってつかんでいませんか。わかりましたら教えていただきたいんですけど。

◎秘書企画課主査（小出健二君） 近隣の状況で申し上げますと、そもそも少し事業の内容等、事前相談をさせていただく期間がございまして、この近隣だと小牧市さんですとか大口町さん、扶桑町さん、稲沢市さんあたりは申請もしていない状況です。ほかの市町については、基本的に申請はいたしておりますけれども、採択をいただけなかった自治体もございます。細かくは、この場でちょっとお伝えにくいですが、基本的に愛知県の県内の市町村でいいますと、34の市町村が採択を受けたということまではつかんでおります。以上です。

◎委員長（伊藤隆信君） 他、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） それでは、歳出についての質疑を終結いたします。続いて、歳入の質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（伊藤隆信君） これをもって歳入についての質疑を終わります。続きまして、第2表の繰越明許費補正についての質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） ないようですので、質疑を終結いたします。次に、議案に対する討論に入ります。討論ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 討論はないようですので、直ちに討論を終結し、直ちに採決に入ります。

議案第57号「平成27年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）」について、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（伊藤隆信君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第57号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第58号「平成28年度岩倉市一般会計補正予算（第1号）」を議題といたします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

初めに、款2総務費、款6商工費についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（塚本秋雄君） 歳出の9ページの2総務費、6の商工費でいいのね。本当は9の教育費も入ってきますけれども、僕の質問はね。

今回の特別職の給与については、2つの理由があって減給したと。1つは不祥事、1つは職員の給与の関係で、適正かの責任と言ったかどうかわかりませんが、そういう形でやったと。

そこで聞きますけれども、職員の不祥事の問題で、ちょっと1つ聞きます。

流れを見ていますと、中日新聞、読売新聞、警察発表は、女性主事は本名は出ていました。男性は出ていませんでした。毎日新聞は、女性も男性も名前は出ていなかった。最終的に市が発表した形の中では、起訴猶予になった理由によってかどうか知りませんが、女性主事、男性主事という形で、本名は出ておりません。

そういうことで、聞きたいところは、まず執行猶予という場合は、本名の名前は上げないというのが当局の考え方でしょうか、お尋ねいたします。

◎秘書企画課長（長谷川 忍君） 初めに、事件のあったときの新聞公表につきましては、私どもからではなくて、警察署からの発表であります。ですので、警察署が発表したものは、女性職員の氏名は公表されておりました。男性は市職員というだけでした。

それから処分の決定については、私どもから報道各社へ提供しております。この場合は、処分に関する公表基準というものがございまして、それに基づいて、具体的にいいますと、女性の職員については所属、名前も公表しています。新聞の公表のされ方は、3社とも結果的には名前は出されなかったという状況でございます。

◎委員（塚本秋雄君） 新聞報道用の資料をいただいております。それでは女性はフルネームが出ております。男性は名前が伏せてあります。しかし、減給6カ月という部分でされているわけですが、議会に対しては名前が出てもいいんじゃないかなと思うんですけれども、なぜ伏せてあるのかど

うかと同時に、毎日新聞の中では、江南署によると、2人は独身で、一、二回食事を行ったがというレベルの記事があります。そういう意味合いで、今回のところにおきますと、ちょっとちぐはぐな部分があるんじゃないかなという形です。と同時に、新聞発表では、市は男性主事にも責任があるとしているという表現があります。そこら辺の関係をお聞きいたします。

◎秘書企画課長（長谷川 忍君） 済みません、今ちょっと公表の基準を手元に持っていないんですけれども、氏名の公表については、報道機関が発表した場合という条件があったと思います。ですので、男性職員については懲戒処分にはなりましたが、公表は、免職、停職は公表するというような基準……。済みません、何度も訂正して申しわけございません。免職と警察が発表した場合というような規定に基づいて1人だけの公表になったと。それについても、議員の皆様にも同じような公表資料とさせていただいたものでございます。

警察が発表したときに、新聞社から報道、警察への問い合わせも多数あったようですし、私どもへもほとんどの新聞・テレビから電話が入りました。細かな内容は、警察から出たものか、私どもが独身だということは言ったかもわかりませんが、何回か食事したなんていうことは、私どもから出た情報ではないと思います。

◎委員（塚本秋雄君） ここら辺で終わることにしますけれども、やはり議会に対しては、減給が出るようであれば、通知文だけでなく、議会にしっかりと説明をしていただかないと困りますことを意見として申し添えておきます。

◎委員長（伊藤隆信君） ほか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（伊藤隆信君） 続いて、款9の教育費についての質疑を許します。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） これをもって歳出についての質疑を終わります。続いて、歳入の質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 歳入の質疑を終結いたします。

ないようですので、質疑を終結し、直ちに議案に対する討論に入ります。討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 討論はないようですので、直ちに採決に入ります。
議案第58号「平成28年度岩倉市一般会計補正予算（第1号）」について、
賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（伊藤隆信君） 挙手多数でございます。

採決の結果、議案第58号は賛成多数により原案のとおり可決すべきものと
決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は全て議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一
任願いたいと思いますけど、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（伊藤隆信君） 異議なしと認め、そのように決しました。

以上で財務常任委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。